

ふれあいと語らいの同窓会



東実同窓会報 No.27

発行 〒144-0051 東京都大田区西蒲田8-18-1 TEL 03-3732-4481

東京実業高校同窓会会報部
http://www.tojitsu-dosokai.com

前を向いて

2016年(平成28年)ひのえさる(丙申)年が明けました。おめでとうございます。

昨年中は大変お世話になり心よりお礼申し上げます。

本年も母校の益々のご発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

昨年の母校は、年明けから新校舎の竣工祝賀記念式典から始まり、夏には「2015 和歌山インターハイ陸上」の5000m競歩で、陸上部男子生徒がみごとに優勝という喜ばしいニュースが、在校生だけでなく卒業生にも流れて、共に喜び合い感動致しました。また、社会面のニュースでは、日本から又もやノーベル賞受賞者が2名も選ばれるという吉報に日本中が喜びにわいた年でした。

何れの吉報にも、それぞれのたゆまぬ努力とプロセスがあり、諦めないという強い意志があつての結果で、テレビから見る映像や耳から入る言葉では、到底計り知れないものを感じます。一年間を短いと感じるか、長いと感じるかは



会長 本田 位公子(第34期)

人それぞれの感じ方があると思います。

私は、何れにせよ今年も「今成すべきことをしっかりと成し遂げる」を自問自答しながら、前を向いてしっかりと歩いて行く一年にしたいと決意を新たに致しました。

同窓会では、今年も母校のニュースを素早くホームページで皆様が発信できるよう努めるとともに、皆様のご協力を賜りながら、より親しまれる“ふれあいと語らいの同窓会”を目指して参りますので、宜しくお願い申し上げます。

平成 28 年 1 月 7 日



新年会集合写真(2016.1.30 品川プリンスホテル)

■平成二十七年度の所感■

今年は久しぶりに同窓会の一泊旅行にこの3月に退職した前校長上野毅と共に参加しました。

横浜から東海道線で集合場所の小田原駅へ行き、そこから龍宮殿の送迎バスに乗り、30分程で旅館に到着。

子供達が2〜3歳の頃、家族で泊まった龍宮殿は老朽化の為、閉鎖され残念ながら柵の外からしか見られませんでした。一年に二度はお会いする皆様と共に楽しい時を過ごさせて頂きました。

65歳を過ぎた頃より、一年一年があつという間に過ぎ去り、身体の衰えを否応なく思い知らされ、愕然とすることがありますが、同窓生の皆様の変わらぬ様子、潑刺たる言動は、大いに励みとなります。

80歳代近くになっても好奇心を忘れず、何事にも前向きに取り組んでいらっしゃる方々を目の当たりにしますと、自分も頑張らなくてはという気持ちにさせて頂き、生きる力が湧いてきます。

今後、益々高齢化が進み、20年後には三人に一人が65歳以上の世の中になるということですし、年だからといってボーっとしているわけにはいかない社会になって行くでしょう。

安倍政権は「一億総活躍社会を目指す」とのことですが、老いてもなお働かなければならない老後を考えると、40代、50代の人々はゆっくりと人生を楽しむ時間が無いのではと、思ってしまう。それよりも若い人達が希望を持って生きて行ける社会作り、安心して子育てが出来る環境整備、保障等、優先項目は沢山あると思うのです。



理事長 上野 雅子

が、それらが何もしなされていない現実がっかりしてしまいます。「ローマは一日にしてならず」とは分かっていますが、国民がもっと喜ぶテーマはないのでしょうか？

話は変わりますが、新校舎での新学期が始まってから早や2学期もそろそろ終わりに近づきましたが、生徒達は高校生活を楽しげに生き生きと送っているようです。

11月の東実祭も久しぶりの開催で、外部からのお客様も多く来校して下さり、盛況のうちに終わりました。「新しい」という言葉は、希望や夢を与えてくれる力があるのでしょうか。

平成27年度に始まった新生東実が、今後益々良くなっていきますようお願いしておりますので、同窓会の皆様にもこれからも、ご支援ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

(平成27年11月下旬に執筆して頂きました。)

奨学金(スカラシップ)について

東京実業高等学校在籍者を対象とする奨学金(東京実業高等学校スカラシップと称す)制度に対して同窓会より、本年度から毎年50万円を奨学金として拠出することが、平成27年(第35回)定期総会に於いて可決承認されました。

そこで、この制度の主な概要を規程から一部抜粋して紹介致します。

(目的)

東京実業高等学校在籍者から他の生徒の範となる優秀な生徒を表彰、更なる精進を支援し、且つ全校生徒の意識向上、モチベーションを高めることを目的とする。

(奨学金の種類)

奨学金の種類は次の4種類とする。

- 学業奨学金
- 資格・技能奨学金
- スポーツ奨学金
- 特別奨学金

(奨学生の資格)

在校中に次の項に該当する者のあったときは、スカラシップ奨学生としての資格を与え奨学金を給付することができる。

●学業奨学生

1学年、2学年共に学年末の学業成績上位者から、各科目より人物および学業成績ともに最優秀である生徒をそれぞれ1名選出し、翌年度に奨学金を給付する。

●資格・技能奨学生

全学年より人物優秀にして各種の資格、検定試験合格者および各種技能大会で好成績を収めた生徒をポイント換算し、高ポイントを獲得した生徒。

●スポーツ奨学生

人物優秀にして体育・スポーツ活動において抜群の成績を収めた生徒。

●特別奨学生

人物優秀にして校外活動並びに社会貢献などで顕著な活躍をして東京実業高等学校の名誉を著しく高めた生徒。

■ 年の瀬に思う ■

2015 年の今年の漢字は「安」。安全、安心の「安」とのこと。手元にある漢和辞典には、もともとは家と女とで、女が家の中に静かに座っているさま、ひいて「やすらか」との解説。なるほどそういう意味か、と妙に納得しつつ、では外に出た女性は、と考えると、気になるのが先月、11 月に発表された経済協力開発機構(OECD)34 か国の統計発表。これによると、日本の労働市場では男女平等には程遠く、男女間の給与格差は 24%あり、特に 40 歳以上では 40%にも上ることから OECD加盟国中ワースト 2 位とのこと。昨年 3 月に発表された女性国会議員の割合をまとめたランキングでも日本は全体の 9%、45 人ということで先進国中最低レベルにあり、世界で 127 位という結果でした。

ところで、雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律(男女雇用機会均等法)、が作られたのは昭和 60 年(1985 年)、今から 30 年前のことです。施行は翌年の昭和 61 年 4 月 1 日でしたが、この昭和 60 年という年は、本校では柔道部が創部 30 年を祝い、電気科(現電気コース)が創設されてから 15 年目、第二種電気工事士 40 名の合格者が出ています。そして学年末の 3 月には旧校舎解体、現在の六階建て校舎であるセンタータワー建設へ向け々と準備を整えていた頃です。また、土井たか子氏が日本社会党委員長となり、日本初の女性党首が誕生した年であり、世界が震撼したソ連、ウクライナでチェルノブイリ原子力発電所事故が起きた年でもありました。「しらんぷりもいじめ」いじめ撲滅キャンペーン(現在の AC ジャパン)、大ヒット商品となっ



学校長 知念 義裕

た使い捨てカメラ「写ルンです」が発売された年でもあり、そうか、もう 30 年にもなるのだ、と我ながら「光陰矢の如し」、この語感をかみしめています。

毎年この時期になると流行語大賞も話題となりますね。「トリプルスリー」、「爆買い」が選ばれましたが、一時候補に挙げられていた「戦後 70 年」はトップテンにも入りませんでした。私個人的には今後も節目の折に触れて「戦後〇〇年」が候補に上がればよいと思っています。先ほどの例で言えば、戦後 40 年にできた男女雇用機会均等法は、とか、2045 年の年なら「戦後百年を迎え、沖縄の国連大学では世界平和の…」などと、節目、節目で「戦後」が永遠に続くことを願っています。

上野毅前校長先生からこの欄を引き継ぐこととなりました。第 45 期商業科卒。どうぞよろしく願い申し上げます。

(平成 27 年 12 月下旬に執筆して頂きました。)

東京実業高校同窓会会員総数

第 90 期(平成 27 年 3 月)卒業生まで

()内の数字は女子会員

会員数		商業系	工業系	普通科		
総数	35,543	14,265	16,703	4,575		
	うち女子 (3,432)	(2,612)	(7)	(813)		
昼間部(同窓会) (大 15~平 27) 90 期		31,317 (3,200)	11,910 (2,382)	4,575 (813)		
夜間部(蛭窓会) (昭 4~昭 52) 49 回		3,586 (228)	2,223 (228)	1,363		
専門学校(五葉会) (昭 35~昭 48) 14 回		640 (4)	132 (2)	508 (2)		
第 90 期 卒業生数	商業系	工業系			普通系	
		機械科	電気科			
			電気	IT		
合計	415	0	126	65	17	207
男子	365	0	126	65	17	157
女子	50	0	0	0	0	50

本誌について

本誌は、同窓会行事の案内や活動報告並びに学校の各科の近況や部活動の活躍状況などを掲載し、同窓会と母校の情報発信誌として毎年 1 回発行しております。

●頒布・送付

発行年度の卒業生には直接頒布し、卒業されてから 3 年迄の会員、同窓会役員、行事出席者及び本会報の寄稿者並びに広告掲載企業様等に送付しております。

また、定期総会、新年会開催の際、受付にて希望される方に配布しております。

在庫部数に限りがありますが、クラス会・同期会開催等に追加注文されたい方は、事務局にご連絡頂ければ差し上げますので、ご遠慮なくお申し込み下さい。

●発行済み会報誌

発行済みの第 1 号(平成 2 年 6 月 1 日発行)~第 26 号(平成 27 年 3 月 1 日発行)は、同窓会ホームページに掲載しております。

ぜひ、一度ご覧いただき、当会の歩みを御理解頂ければ幸甚に存じます。

●ホームページ URL

<http://www.tojitsu-dosokai.com/>

学校の近況報告



副校長 小畑 雅一

今年度より副校長を務めます、小畑雅一です。専門教科は商業科で、これまでは主に生徒会や親学生会などを担当してまいりました。今後は同窓会の皆様とも一緒に活動させていただきますので、どうぞ宜しくお願い致します。

■新入生と新校舎

4月に362名の新入生を迎え、全校生徒1050名で平成27年度が始まりました。昨年度までの1号館と公道を挟んだ仮設校舎との移動から解放され、まだ新築の匂いが濃く漂う新校舎で気持ちを新たにしました出発でした。

4月7日に挙行された入学式では、新校長の知念義裕先生から新入生へ歓迎と激励の式辞の後、新入生代表の鶴田麻未さん(生麦中)が、これからの高校生活に対しての誓いの言葉を力強く読み上げ、小川欽也先生を学年主任とする新1学年がスタートしました。

新校舎は、以前あった2号館の場所に地上5階建の「イーストウイング(以下、EW)」が、4号館と5号館があった場所に「サウスウイング(以下、SW)」が4階建てで建ち、SWの1階には今回の新校舎建設に多大なるご支援を頂いた第2代同窓会長である村松濱代氏のお名前を冠した、明るい吹き抜けの「村松ホール」が設置されています。生徒たちは休み時間や放課後のひと時、この村松ホールでお弁当を広げたり勉強を教えあったりと、仲間との時間を謳歌しています。

また、新設された各科の「コンピュータールーム」には、Windowsは勿論Macの最新機種も導入され、その他EWの5階には「茶室」や最新のCALL(COMPUTER ASSISTED LANGUAGE LEARNING)システムを設置した視聴覚室が、そして「陶芸室」、「ガラス工芸室」などなど、これまでになかった施設も数多く設置されています。東実祭など、母校を訪れる機会があれば、ぜひ校内を探索して頂きたいと思います。

■キャリアセンター

昨年度より本校には進路指導部とは別に、生徒たちの未来選択をサポートする「キャリアセンター」が発足しました。現在の主な活動は、2年生の夏休みに実施しているインターンシップの準備と指導、そして生徒たちに自分の未来を考えてもらうためのサポートをする「進路ノート」の作成などを行っています。また、今後は同窓生の皆様にもご協力頂き、「社会人講座」や、「OBを囲

む会」なども企画したいと考えています。教職員だけでなく、同窓生の皆様をはじめ地域の皆さんなどたくさんの方にご協力頂き、生徒たちに自分たちの未来を考える機会を作ってまいりますので、同窓会としてのご支援をお願い致します。

■部活動報告

今年度、特に活躍した部活動はサッカー部です。全国高校選手権の予選こそ都ベスト16でしたが、年間を通じて行われるユースの大会「東京Tリーグ2015」では、今年参戦したT2リーグで見事優勝し、来期は帝京高校や関東第一高校などが所属するT1リーグに昇格、参戦することになりました。全国大会への挑戦と共に、T1リーグでの活躍も期待したいと思います。

野球部、陸上競技部も健闘しましたが、全国大会まではあと一歩およびませんでした。野球部は夏の東東京予選でベスト8、陸上競技部は11月に実施された全国高校駅伝東京大会で第3位という結果でした。ただし、陸上競技部では、今年初めて女子も駅伝予選に参戦し、20位に食い込むなど、今後更なる活躍が期待出来ます。

文化部では今年度もマーチングバンド部が関東大会に出場しましたが、残念ながら銀賞受賞ということで、全国大会へ駒を進めることは出来ませんでした。来年度の全国大会への復活を期待します。他にも、今年度は「家庭科愛好会」や「バトミントン愛好会」、そして文字や画像、音声、動画など、いろいろな素材を組み合わせたソフトウェアの作成を楽しむ「オーサリング愛好会」などが誕生し、今後同好会への昇格を目指し活動を進めて行きます。

■教職員の永年勤続表彰及び異動 (敬称略)

●永年勤続表彰者

勤続30年：小林 正文(社会)

●教職員の異動

退職教職員：鈴木 光男(英語)、馬場 文男(電気)
 斉藤 義雄(機械)、佐藤 和男(研修所長)
 鳥塚 満夫(電気再任用)

新専任職員：木内 美穂(英語)

新養護職員：大石 咲代子(養護)

新実習助手：茂木 次郎(工業)、福島 光(工業)

新研修所長：福田 初也

●教職員の訃報

元教員：工藤都志男(体育) 平成27年10月4日逝去

現教員：高橋 修(社会) 平成27年11月16日逝去

————— 平成28年2月1日現在 —————

東京実業高校のホームページ



随時更新して学校の最新
 情報を紹介しております。
 ぜひ一度ご覧下さい!

<http://www.tojitsu.ed.jp/>

機械科



機械科科长 村山 隆

今年度(平成 27 年)から機械科科长になりました村山隆です。宜しくお願い致します。

今年度の機械科は、新入生 91 名を迎え、4 月 1 日現在の機械科の在籍数は 301 名で、内訳は 1 学年 91 名(2 クラス)、2 学年 124 名(3 クラス)、3 学年 86 名(2 クラス)となりました。

各学年のクラス担任は、1 学年 A 組:藤田稔[機械]、B 組:村上信人[機械]、2 学年 A 組:村山隆[機械]、B 組:関根勝[数学]、C 組:児島大祐[体育]、3 学年 A 組:増田修一[機械]、B 組:宮地裕[国語]の各先生方です。

新体育館(フェニックスアリーナ)1 階フロアに各実習室を集約し、今年度は実習内容の充実を目指し、新規導入した NC 旋盤、ロボドリル(マシニングセンタ)、レゴマインドストーム(マサチューセッツ工科大学とレ

ゴ社が共同開発した、教育用ロボットキット)を 3 年生の実習に導入しました。

資格取得にも従来通り力を入れております。

本年 7 月から新規に小型車両系建設機械特別教育講習を受講し、63 名合格、高所作業特別教育講習に 97 名合格するなど、多くの生徒(機械科・電気コース 2 年生)が積極的に取り組んで取得しております。また、国家試験「第二種電気工事士」には、昨年は 2 名合格でしたが、今年度は機械科 2 年の生徒が 5 名合格しました。

同窓会の益々のご発展と同窓生の皆様のご多幸をお祈りし、機械科の近況報告とさせていただきます。



機械科実習室

電気科



電気科科长 深川 剛

今年度(平成 27 年)の電気科は、電気コース 78 名(男子のみ)、ゲーム IT コース 36 名(男子 33 名・女子 3 名)の 114 名の新入生を迎えスタートしました。

11 月 1 日現在、電気科は電気コース 190 名、ゲーム IT コース 92 名の合計 282 名の在籍数となり、クラス数も昨年度同様、各学年電気コース 2 クラス、ゲーム IT コース 1 クラスの計 9 クラス体制となっています。

平成 22 年度 15 名のクラスからスタートしたゲーム IT コースも年々入学生が増え、今年度は 30 名を超える六期生が入学し、コースの認知度が着実に上がっていると感じています。

また、ゲーム IT コース設立以来参加している「東京ゲームショー」に今年も出展しました。ブースではゲーム IT コース 3 年生が制作したオリジナルゲームを展示しましたが、このゲームを試遊するために時には列が出来るなど、盛況の内に終了することが出来ました。

毎年同窓会報で報告しております、「第二種電気工事

士」の合格者ですが、今年度は 40 名の生徒が実技試験にチャレンジして 35 名(電気科 30 名、機械科 5 名)の生徒が合格しました。合格率は 87.5%と例年に比べやや下がりましたが、35 名合格は平成 4 年度以来の人数で、電気科が工事士の講習をスタートしてから歴代 2 位の合格者数となりました。

「第一種電気工事士」も昨年度は 2 名の生徒が合格し、ここ数年は年度で複数の生徒が合格する嬉しい状況が続いております。

昨年 12 月に完成した新校舎に、電気科のすべての実習室が設置され、電力実習装置やコンピュータも設備更新しました。ご来校なされる機会がありましたら是非ご覧頂きたく存じます。



平成 27 年度 第二種電気工事士合格者

普通科

ビジネスコース



ビジネスコース科長
湯尻 英明

平成 27 年 11 月 1 日現在、普通科ビジネスコースには 343 名の生徒が在籍し、専門性を高め、様々な検定試験（簿記・情報処理・ワープロ・社会常識・ビジネスマナー）に挑戦することで個人の能力を向上させています。

ビジネスコースでは学校行事にも積極的にに関わり、11 月の東実祭の各種競技大会では、珠算部門 1 年中村綾花・2 年町田直輝・3 年松浦琢人、簿記部門では 1 年平良大介・2 年伊藤大海・3 年齊藤薫・岩田諒太郎、ワープロ部門では 1 年松林直人・2 年神房祐大・3 年窪木新太が優勝しました。

また、今年度も東実祭期間中に「第 5 回東実ビジネスフェスタ」を開催し、販売実習・店舗運営を経験し、普段学んだ知識、技術の実践の場としました。この出店には東日本大震災の被災地である東北 3 県をクラスごとに担当し、復興支援の一役を担えるように物産品を調べ、販売につなげています。特に 3 年生は仕入・装飾・販売・

マーケティング等を考え、1、2 年生にはマナーや接客、ポスター制作も行い、東実祭期間の 2 日間ですべてのお客様を引き付けられるか、貴重な経験を積めたと思います。3 年生メンバーは宮城県（阿部陽奈乃・軽部葵・廣野巧・松江啓志郎・渡邊愛美）、岩手県（窪木新太・佐々木明日香・清水康平・瀧冬萌美・田中愛実花）、福島県（石井亜美・齋藤慶司・土井広樹・松下直子）です。

写真はその時の生徒の様子です。



普通科

文理コース



文理コース科長
藤吉 大介

昭和 51 年に設置された普通科は、平成 13 年より普通科文理コースと名称を変更したものの、設置当時から変わらず「4 年生大学進学」を目標とし、平成 27 年度で 39 年目を迎えました。世間での大学進学に対する意義は、時代とともに変容しておりますが、その必要性は変わりません。特に、高校生を二人に一人以上が大学に進学する現代において、本校における文理コースの存在意義はますます高まっています。

さて、文理コースでは、次の三点を指導の重点としています。

- (1) 基礎学力の定着。
- (2) 生徒たちのレベルに合った学習の展開。
- (3) 大学進学に向けた実力の向上。

(1)については、毎週月曜日の 1 時間目に到達確認テストを実施しています。国語・数学・英語の一週間分の

授業の定着度を確認し、合格点に達していない場合は、放課後の補習で定着を図っています。さらに、一般常識についても出題し、広く世の中について関心を高めるよう促しています。

(2)については、特に数学で習熟度別授業を展開し、生徒のレベルにあった授業で、理解度を高めるようにしています。また、希望制で、オンラインで予備校の講義を聞き、問題演習をしていく「受験サプリ」なども導入しており、新校舎に設置された視聴覚室では、毎朝 7 時過ぎから放課後は 6 時まで「受験サプリ」で受験勉強する姿が見られます。

(3)では、城南予備校から講師を派遣してもらい、1・2 年生の希望者を対象に土曜講座を実施しています。年間 20 回の土曜日が土曜講座となります。土曜講座のない土曜日には、全国模試と英検の受験日となりますので、土曜講座を受講している生徒は、学校 6 日制という意識で学習しています。内容は、英語と数学に限定しました。

文理コースには、12 月 1 日現在 120 名の生徒が在籍しています。12 月 4 日の「文理コース集会」では、平成 32 年よりスタートする大学入試改革についての講話、検定取得などの奨励賞授与、そしてセンター・一般入試に挑む 3 年生への壮行会が行われました。

今後も文理コースは、時代の変容に身をゆだねつつ、伝統を継承してまいります。

部活動

映画研究部



顧問 小島 茂

映画研究部の活動は学校行事の入学式、体育祭、卒業式の撮影や学校説明会で上映するクラブ紹介ビデオ制作と、東実祭の自主映画の上映です。また、以前は昼休みに短編映画の上映や放課後に長編映画の上映もしました。

今年度の映画研究部は、3年生7人、1年生4人で週3日間活動しています。女子生徒も2人在籍し、「昨年よりも良い自主映画」の制作を目標に活動しています。

学校説明会でのクラブ活動紹介ビデオも年々、アングル、構成、音響効果、ナレーションなどを工夫し、各クラブの魅力を伝えられるように部員は創意工夫をしています。

東実祭の作品も女子制作の「バカッコイイ」と男子制作の「羅生門」をモチーフにした作品を上映し、部員の

個性とユーモアと感性がふんだんに盛り込まれた力作とあっていいほどの作品の仕上がりととなりました。

また、今年度の東実祭では、記念式典特別講演をされたタレントの森脇健児さんへのインタビューとサプライズイベントの長州小力さん率いる「西ロプロレス」の試合を撮影、編集をして東実祭2日目に上映しました。

映画研究部が映像を通して「東実生の今」「高校生の自分達」を表現し、追求してくれることを望みます。



映画研究部部員+長州小力さん

生徒会



生徒会長 與那嶺 康紀

私達生徒会執行部は1年生8名、2年生14名の計22名で活動しています。5月に行われる生徒会役員選挙に始まり、本校の二大行事である体育祭と東実祭、3年生を送る会や新入生歓迎会の企画・運営を主として活動を行っています。その他にも年に一度、生徒会誌「蒲公英」の編集・発行も行っています。

今年度は念願の新校舎完成という大きな出来事があり、我々生徒会執行部の役員のみならず、学校全体の雰囲気に変化をもたらすものでした。

また、この新校舎完成に伴い、昨年度まで「オープンハイスクール」として開催されていた文化祭も、晴れて「東実祭」復活の運びとなり、それに対する期待の声も多く上がりました。私自身はおろか、在校生の誰一人として経験したことのない「東実祭」でしたが、準備期間の段階から学校全体に文化祭に対する意欲を感じ取ることができ、初めてのことながらに不安を感じない時間と

なりました。結果として、様々な方からの多大なるご協力のお蔭で大成功を収めることができ、私達執行部の成長にとって非常に大きな糧となる行事の一つとなりました。その他にも大田区の地域活性化に貢献するべく、いろいろなイベントに生徒会執行部として、参加することも活動の一環としています。

二大行事も終え、残された行事も後わずかとなってきて今ですが、今までより一層気を引き締めることで、この東京実業の基盤の安定と更なる発展に努めたいと思っています。

これからも執行部一同全力を尽くして活動して行きますので、今後ともご支援の程、宜しくお願ひ致します。

平成 27 年 11 月



生徒会役員会議

平成27年 定期総会

平成 26 年度 収支決算報告書

(平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで)

収入の部			支出の部		
科目	予算	決算	科目	予算	決算
前年度繰越金	3,540,133	3,540,133	事務消耗品費	400,000	438,036
入会金	4,000,000	4,150,000	通信連絡費	100,000	72,529
寄付金	0	0	ホームページ管理費	170,000	165,650
広告費	35,000	50,000	印刷費	80,000	12,960
総会会費	200,000	207,000	会議費	350,000	274,030
旅行会費	450,000	677,500	総会助成費	400,000	295,050
新年会会費	400,000	350,000	総会会費	200,000	327,000
東実祭	150,000	124,000	旅行助成費	100,000	283,139
受取利息	350	1,514	旅行会費	450,000	687,500
雑収入	200,000	236,000	新年会助成費	100,000	46,446
(総会…¥120,000)			新年会会費	400,000	456,000
(旅行…¥10,000)			東実祭助成費	20,000	108,000
(新年会…¥106,000)			東実祭費	150,000	124,000
振替(短期預金解約)	0	13,389,872	会報発行費	630,000	624,011
			慶弔費	300,000	410,000
			卒業記念品費	350,000	382,800
			積立金	500,000	3,670,000
			交通費	10,000	27,000
			予備費	500,000	130,000
			雑費(残高証明)	0	324
			寄付金(90周年記念)	0	10,000,000
			次年度繰越金	3,765,483	4,191,544
収入合計	8,975,483	22,726,019	支出合計	8,975,483	22,726,019

積立金等次年度繰越金内訳 (別途会計)

金融機関名	前年度残高	増減	利息	本年度残高	備考
定期預金(みずほ)	10,695,577	3,670,000	1,840	14,367,417	定期預金
定期預金(東京三菱UFJ)	10,111,082	0	2,014	10,113,096	定期預金
短期定期預金(みずほ)	13,389,872	△13,389,872	0	0	1.5年定期
合計	34,196,531	△9,719,872	3,854	24,480,513	

監査報告書

東京実業高校同窓会の平成 26 年度 (平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで) の収支決算報告書を監査致しました。その結果適正且つ妥当であることを認めます。

平成 27 年 5 月 15 日

会計監査 木村 恭久

同 松尾 高佳



▶ 定期総会

平成 27 年 6 月 6 日 (土曜) 15 時 00 分より、「プラザ・アペア」にて、「平成 27 年 (第 35 回) 定期総会」を開催しました。

本田位公子会長の挨拶の後、会長が議長となり次の 5 議案が議場に諮られ、全ての議案は原案通り可決承認され、15 時 50 分に閉会しました。

- ・第 1 号議案 平成 26 年度事業報告
- ・第 2 号議案 平成 26 年度収支決算報告並びに監査報告
- ・第 3 号議案 平成 27 年度事業計画(案)
- ・第 4 号議案 平成 27 年度収支予算(案)
- ・第 5 号議案 異動に伴う役員改選(案)

なお、本年度は役員改選期ではありませんでしたが、次頁の「第 5 号議案資料」の 5 名の役員異動に伴う改選があり、平成 27 年度の役員は、次頁の「役員名簿」の通りとなりました。

▶ 懇親会

総会後の 16 時 00 分より、総勢 84 名 (ご来賓・学校関係 12 名、会員 72 名) の出席のもとに懇親会を開催しました。

本田位公子会長、上野雅子理事長、村松濱代顧問の挨拶の後、ご来賓の東京高校同窓会矢澤秀一会長様よりご祝辞を頂き、次いで、村山隆校内幹事長より出席職員の紹介を頂いた後、小畑雅一副会長 (副校長) に学校の近況報告と乾杯の音頭をとって頂き宴に入りました。

半世紀以上の年齢差の OB・OG が交流するという同窓会ならではの楽しい時間を過ごし、最後に常任幹事の関根秀夫氏 (28 期) と 90 期卒業の若い会員達の音頭で恒例となった校歌を全員で斉唱し、20 時 00 分散会となりました。ご多忙中のところ、ご出席下さいました皆様には、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

(総務部)

総会資料

平成 27 年度 事業計画

《定期総会及び庶務一般に関する事業》

- 平成 27 年(第 35 回)定期総会並びに懇親会の開催
 - 定期総会
 - ・日時：平成 27 年 6 月 6 日(土) 15 時 00 分開会
 - ・場所：プラザ・アペア
 - 懇親会
 - ・定期総会終了後、隣接会場にて開催
 - ・参加費：3,000 円
(卒業後 3 年以内の会員は招待とし、無料とする)
- 拡大幹事会(役員・学校関係者)
 - 臨時(名誉会長・副会長の異動祝賀会)
 - ・日時：平成 27 年 6 月 14 日(日)
正午～13 時 50 分(1 時間 50 分)
 - ・場所：横浜ロイヤルウイング・ランチクルーズ
 - ・会費：5,000 円
 - 通常(同窓会と学校の情報交換会)
 - ・日時：平成 27 年 11 月 20 日(金) 18 時 00 分開会
 - ・場所：プラザ・アペア
 - ・会費：3,000 円
- 庶務一般関係
 - 会員の名簿の整理及び作成
 - 各期同窓生に対し、同窓会事業の参加促進活動
 - 卒業記念アルバムの管理
 - その他
 - ① 常任幹事会等の開催
 - ② 新幹事との懇親会の開催
 - ③ 学校行事への出席
 - ④ 部活への賛助金活動等

《年間行事等に関する事業》

- 第 32 回懇親旅行の実施
 - ・日時：平成 27 年 9 月 5・6 日(土・日)
 - ・場所：神奈川県 芦ノ湖畔蛸川温泉「龍宮殿」泊
 - ・会費：28,000 円
- 東実祭への参加
 - ・日時：平成 27 年 11 月 14・15 日(土・日)
 - ・催し：同窓会の部屋の設営/校章入りドラ焼き販売
/その他
- 平成 28 年 新年会の開催
 - ・日時：平成 28 年 1 月 30 日(土) 17 時 30 分開宴
 - ・場所：品川プリンスホテル
 - ・会費：9,000 円
(卒業後 3 年以内の会員は招待とし、無料とする)

《新規事業の企画及びHPに関する事業》

- ホームページ関連
 - 随時更新及び年間行事等の情報提供
 - 広報活動
 - アクセス数の推進
- 同窓生及び教員等関係者内の有名人・著名人のリストアップ
- 新規事業の企画立案

《会計・予算の総括に関する事業》

- 会計関係
 - 各事業に係る会計報告並びに会計業務全般
- 予算及び決算関係
 - 当該年度の収支決算書及び新年度予算案の作成

会 報 部	《同窓会会報誌に関する事業》
	<ol style="list-style-type: none"> 会報第 27 号(平成 28 年 3 月 1 日発行)の編集・出版 <ul style="list-style-type: none"> ● 出版 カラー A4 版両面刷 16 ページ構成で出版 ● 頒布・送付 第 91 期生(平成 28 年 3 月卒業)への頒布及び役員・卒業されてから 3 年迄の会員・寄稿者・行事参加者・広告掲載企業等への送付 広告掲載企業の募集

第 5 議案資料

異動に伴い次の役員が改選されました。

	氏名	現任	改選	改選事由等
1	上野 毅	名誉会長(学校長)	顧問	学校長を退任された為
2	知念 義裕	副会長(副校長)	名誉会長(学校長)	学校長に就任された為
3	小畑 雅一		副会長(副校長)	副校長に就任された為
4	千田 一雄	校内幹事	退任	教員を定年退職された為
5	森 吉男	校内幹事	退任	教員を定年退職された為

役員名簿

(任期：平成28年定時総会開催日まで)

役職名・所属部会	期	氏名	役職名・前職	期	氏名	
名誉会長(学校長)	45	知念 義裕	第2代会長	17	村松 濱代	
会長	34	本田 位公子	第4代会長	39	黒田 芳彦	
副会長	(副校長)	小畑 雅一	名誉会長		上野 毅	
	会計部責任者	37 白銀 正明	元幹事	16	小宮 龍雄	
	会報部責任者	38 川邊 國造	元監査	18	笠原 忠男	
	企画部責任者	39 戸田 三光	元教員	23	小島 浩	
	総務部責任者	42 臼田 佳彦	元教員	34	浅賀 英雄	
	事業部責任者	53 酒井 利夫	元副会長	36	天野 昇	
常任	事業部	38 池上 良信	元職員	37	米田 仁昌	
		41 森田 洋司	元副会長	38	田所 豊	
		44 南 俊和	元副会長	38	滝口 房枝	
		53 斎藤 正千代	元校内幹事長	42	井上 昭	
		56 佐々木 健	元職員	46	飯塚 方子	
		76 伊藤 英明	会計監査			
		76 高柳 直生	元事務長		松尾 高佳	
77 山本 真史	会計監査	35	木村 恭久			
幹事	総務部	25 吉村 和重	校内幹事	幹事長	54	村山 隆
		28 関根 秀夫		副幹事長	46	原田 忠彦
		37 小泉 耕一郎		幹事	45	馬場 文男
		42 谷内 繁			62	中村 大
		42 瀬川 千尋			66	深川 剛
	企画部	41 加藤 憲治		69	小島 健市	
		42 鈴木 和雄		78	児島 大祐	
		42 瀬戸 盛義	※校内幹事は東京実業高校卒業の「現教職員」です。			
	会報部	76 高山 峻一				
		29 箕輪 弘数				
41 竹見 佐智子						
42 神野 行雄						
会計部	48 佐藤 まり子					
	75 山田 慎					
	30 渡邊 正信					
事務局	59 井上ひとみ					
	41 米倉 美鈴					
		(兼)書記				
		常任幹事	37	小泉 耕一郎		
			75	山田 慎		

総務部

事業部

企画部

会計部

拡大幹事会

●臨時（名誉会長・副会長の異動祝賀会）

平成 27 年 6 月 14 日（日）、総勢 24 名（学校関係者 5 名、同窓会役員 19 名）の参加のもと、横浜クルーズ船「ロイヤルウイング」でのランチクルーズ（12 時 00 分～13 時 50 分）を楽しみながら、第 35 回定期総会をもって退任された上野毅前名誉会長（前学校長）への慰労と感謝、後任の知念義裕名誉会長（校長）、小畑雅一副会長（副校長）の両先生と田中久也事務長の就任祝いを兼ねて、臨時の拡大幹事会を開催しました。（総務部）



●通常（同窓会と学校の情報交換会）

平成 27 年 11 月 20 日（金）、18 時 00 分より「プラザ・アペア」に於いて、出席者：22 名（同窓会役員：16 名、学校関係者：6 名）のもと、拡大幹事会を開催しました。

本田位公子会長、知念義裕名誉会長（校長）の挨拶の後、小畑雅一副会長（副校長）より、学校の近況並びに各部活の活躍等について報告され、次いで同窓会各部会責任者より、本年度実施済み事業についての結果報告と今後実施予定の事業についての説明がありました。

会議終了後、同会場にて懇親会が開催され、上野雅子理事長の挨拶の後、村山隆校内幹事長から出席教職員（校内幹事）の紹介と乾杯の音頭をとって頂き、懇親会を開催しました。（総務部）

平成 27 年度 東実祭

体育館及び校舎建替え工事に伴い、平成 23 年から「オープンハイスクール」と称して 1 日のみで開催しておりましたが、本年度から以前の 2 日間開催の「東実祭」が復活し、11 月 14 日～15 日（土・日）、に開催されました。

本会も昨年と同様に「同窓会の部屋」を設け、歴代の卒業記念アルバム（一部電子化してモニターで放映）、や会員が撮影した写真、自主制作した作品を展示しました。

また、恒例となった「校章入りどら焼き」の販売は、好評で用意した 2,000 個を完売しました。（事業部）



平成 27 年度 新幹事懇親会

平成 27 年 12 月 3 日（木）11 時 30 分より、校内会議室に於いて、「平成 27 年度（第 91 期・平成 28 年 3 月卒業）同窓会幹事」と昼食会を兼ねた懇親会を開催しました。出席者は次の 35 名です。

（学校）：新幹事 18 名・各クラス担任先生 9 名・知念義裕校長・小畑雅一副校長・淵田和良学年主任・田中久也事務長…計 31 名

（本会）：本田位公子会長・箕輪弘数（第 29 期）、米倉美鈴（第 41 期-事務局）両常任幹事…計 3 名

（招待会員）：喜納淳氏（第 34 期）

喜納淳(Kino Atsushi) 氏プロフィール	
◆第34期（昭和34年）機械科を卒業し、図書印刷会社に就職。2ヶ月後、日本鋼管（現JFEスチール）中央研究所に転職。	
◆23歳時、公務員試験後防衛庁技術研究本部第4研究所に転職～28年間勤務。（在任中は、主にキャタピラ車両の研究と南極雪上車の研究開発に携わる）	
◆50歳で㈱コア総合研究所に転職。研究所長を経て退職～現在に至る。	
◆第9次南極観測越冬隊員として活躍される。	

懇親会では、本田会長より本会の主な事業活動説明を兼ねた挨拶があり、続いて喜納淳氏に小講演をして頂きました。なお、幹事及び担任の先生は、下表の名簿の通りです。

平成 27 年度（第 91 期）同窓会幹事名簿

（平成 28 年 3 月卒業生のクラス別同窓会幹事）

クラス	担任先生	幹 事	
機械 A	増田 修一	安井 優史	野尻 昌利
機械 B	宮地 裕	安藤 雄祐	佐原 優浩
電気 A	片山 智裕	時盛 倭人	ブルーノ・ガティ ジョ・キス
電気 B	宮田 宏輔	塩出 淳己	新野 裕貴
電気 IT	熊谷 暁了	○坂本 勇	◎星野 尚志
普通 A	岩田 孝文	本岡 舞	片岡 利里
普通 B	小島 茂	○伊藤 奈穂子	牧山 龍太
普通 C	日比野 重光	厚地 銀雅	早稲田みのり
普通 D	藤吉 大介	菊池 亮太	○山本 珠莉

☆学年主任は、淵田和良先生です。

☆◎印は代表幹事、○印は副代表幹事です。

☆幹事は、各クラス 2 名、計 18 名です。



平成 27 年度（第 91 期）幹事 18 名

寄稿・同期会

木更津竜宮「ホテル三日月」にて

石原 孝 (第 36 期・機械科B)

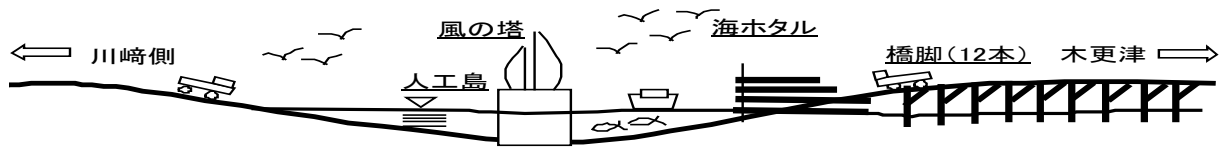
平成 27 年 10 月 19 日 (月)～20 日 (火)、激暑も果て、向寒を迎える前に「36 期・M3B 有志会」を開催。午後 2 時 30 分～諸氏の都合を鑑み、ウィークデーの宿泊と日帰りの 2 プランで企画したところ、宿泊プランに決まりました。残念ながら参加者は指折数でしたが、その分有意義な時間を過ごすことが出来ました。

開催場所は、私の地元木更津(都心からは小 1～2 時間の距離)の「ホテル三日月」です。



左から品田・桜井・竹花・石原(著者)・横山氏

黄金風呂(1 億円とも?)や屋外の少々熱め(43 度)の海水風呂に入りながら眺めるアクアラインは絶景です。(但し、その光景は湯船からは、見えづらいのでタオルを腰に巻いて、外壁越しに見る)海水は一瞬ピリッと来



露天風呂からの眺望

露天風呂から眺めるアクアラインの景観は、まさにスケール(直線定規)で水平線を引いたように一寸盛り上がって、中継の「海ほたる」に吸い込まれ、その先は東京湾の水面下。その左手ににょっきりと「風の塔(吹き抜け=海面下 57m)」が首を出した景観は、橋脚とトンネルのコラボレーション。これは外国では、考えられない技術力の高さだと改めて感じます。この計画は、すでに明治時代からあったと何かで聞いたことがありました。全長 15.1km、総工費約 1.5 兆円は丁度 1 万円を積み重ねた高さぐらゐの巨大プロジェクトだった訳で、その経済効果は計り知れない 100 年の遺産でしょうか。

前回(平成 22 年 4 月 12 日)は、3.11 大震災前でしたので、早 5 年の月日が流れた訳です。

皆の話題は共通していて、体のこと、家族のこと、遠くにいる子や孫のこと、女の“エロ”な話も少しあったかも…?(失笑) 55 年前の童顔となって、話の主演は限りなく変わって行きますが、皆いちいち頷いているばかり。楽しかったこと、貧しく物が余りなかった時代でしたが皆先を見ていたので、あまり挫折感はありませんでした。価値観は全く同じだったように思います。

後になりましたが、初めてこのホテルに入館する方々に予備知識として、ご紹介しましょう。比較的温暖な気候で周辺はヤン系の木々が林立、南北に伸びた 10 階建て幾多の客室を有し、外房の鴨川、勝浦そして木更津にホテルチェーンとして 10 年ほど前に建設され、客層は家族連れや外国人もチラホラ…、若年カップル等が手と手を繋いでいました。部屋は 1014 号室(10 階)で眼下に盛夏は賑わったことでしょう。夜には二つのプールサイドのイルミネーションがキラキラと輝き幻想的な光景。温泉設備は 150m ほどの長楕円(1 周できる)で各所にジャグジー、バブルバスなどがあり、頭上の滝からの泉水に打たれるとえも言えぬ気持ち良さ。サウナ(高温/低温)、

ますが、昨年、私は不注意で左足首を骨折したため、家の風呂で毎日養生しているのですがこの入浴は、何とも言えない爽快感がありました。

間もなく食事会(バイキング)が始まって大レストランには、老若男女数百名の宿泊客でテーブルは満席状態。クルー(5 人衆)は数十のメニューを堪能し、21 時に散会となり、2 次会はカラオケ(マイクを離さない人有)を楽しみ…。中秋の夜は更けて行きました。

物故者

下記の方が逝去された旨、事務局に連絡がありました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

卒期	氏名	没年
第 15 期	畑山 誠	平成 26 年 6 月
第 16 期	南雲 賢三郎	平成 27 年 1 月
第 17 期	六部 峻	平成 27 年 11 月
第 18 期	赤羽 一夫	平成 26 年 9 月
第 19 期	三橋 金久	平成 26 年 3 月
第 22 期	村山 弘三	平成 26 年 11 月
第 23 期	長瀬 尚午	平成 27 年 4 月
第 23 期	最上 輝之	平成 27 年 9 月
第 25 期	米山 嘉重	平成 21 年 4 月
第 29 期	羽藤 譲	平成 27 年 6 月
第 35 期	長谷川 紀子	平成 25 年
第 35 期	新堀 敏雄	平成 23 年 5 月
第 36 期	石尾 英久	平成 27 年 3 月
第 36 期	藤田 禅	平成 27 年 11 月
第 38 期	大曾根 洋一	平成 25 年
第 50 期	鈴木 康夫	
第 62 期	平林 好弘	平成 26 年

昭和34年卒業 機械科クラス会の思い出

鈴木 正(第34期・機械科B)

昭和34年機械科3年B組を卒業し、還暦後に連絡が取れた9人が、恩師八田泰造先生を招いて「クラス会」と称して母校のある蒲田の地で一夕の歓談をしたのが始まりです。

記憶とは不思議なもので別れた時に心に刻まれたままで、その変わりばえに一夕が始まると「どなたさまですか!」から始まり、しばしの時間後に、言葉の端々から往時が甦り、歓談は在校時代そのままになり、別れた時間の長さがこんなに短く感じる不思議さに、皆心地よいひとときを過ごしました。そしてこの集まりを「34機会」としました。この体感を共有すべく年一度の歓談はクラスメートを調査し、最大11名の時もあり、また、同窓の商業科の女性も参加したことがありました。

その後は場所を変えながら開催し、恩師八田泰造先生の自宅近くの深大寺の割烹「水神苑」で毎年開催しています。毎年1回の開催ですが、年々高齢になるクラスメート、八田先生の健康状況や各自の家庭の話、趣味の話、学校の陸上部の京都高校駅伝(全国大会)の出場の話など、酒と近況とロマンを語り、楽しいひとときを過ごし話題は尽きません。年々高齢になるクラスメートも八田先生を見習うことが我々教え子の目標です。

在学中は学年では問題の生徒も居り、天井裏に穴をあけたり、遅刻は当たり前の生徒、部活のレスリング部員も数人おり、全日本クラスで活躍した選手もいたり、優等生もいて非常に多様性に富んだクラスでした。卒業時も就職難で、私は卒業前の2月にやっと就職でき、卒業時にはまだ就職・進学も未定な生徒もいたと思います。私の強い印象は在学時工作実習作業で工具類の「整理整頓」、「大切に扱う」注意事項が実社会で最初に一番役立った言葉であったと思います。

学生時代の夢と現実が成人になり異なってもその時々判断・創意工夫で乗り越え、若くして南極観測越冬隊員で活躍した人、会社でそれなりの地位にのぼりつめた人、また、歳を重ね今日もなお陶芸や盆栽教室を開き、地域の子供や成人を指導し、専門雑誌に掲載され地域に大いに貢献している人など、様々な経験を積んだ多士済々のクラスメートです。会話の中で苦労話はほとんど封印しているのか聞いたことがありません。長年の経験が今日の自信に至っていると判断します。

還暦を過ぎた同窓生の皆様には、同窓生の良い仲間の語らいの場を作ることをお勧め致します。なぜなら、学び舎では成績も体力も良いところ悪いところ全て学んでいるから…。皆、素晴らしい特性のある人で、一人としてクローン人間はいないのだから…。このことを知るとお互いに尊敬し合え、心地よい仲間いきと思いを馳せるでしょう。これからもボケ・老化防止・健康維持に留意して「34機会」で皆勤賞を貰うよう精進したいと考えております。

平成27年11月11日



鈴木正氏



34期機械科八田先生のクラスの方々、
誰だかわかりますか…

私の戦後70年



石川 サカエ (第32期)

平成27年は戦後70年にあたり、戦災などについては何回となくテレビや新聞で報じられてきました。

昭和20年3月10日、当時6歳だった私は、住んでいた浅草で東京大空襲に遭い、十数万人の焼死者の中に入る所でした。空襲警報に備えて防空壕に入って間もなく、ヒューヒューの音と共に焼夷弾が防空壕の奥に落ち、今まさに死を覚悟した時、外にいた人が「急いで出るように」と教えてくれたお蔭で、家族全員が助かりました。

焼け野原と化した浅草に残された建物は、コンクリートの小学校などでした。跡形も無くなってしまった近所の飴屋さんから匂う焦げた匂いは、今でも忘れることは出来ません。

年明け早々暗い話になってしまいました。

とにかく人生いろいろで、皆、誰もが順風満帆に過ごせるとは限りません。辛いことがあっても、それをバネにして生きて行けたら…と思います。縁があつて私もこの学校(東実)で校長先生、諸先生方のもとで学ばせて頂き、感謝しております。これからも校長先生、諸先生方、そして先輩後輩皆で協力し合って、本同窓会の輪を広げ、より良い人生を過ごして行きたいと思っております。

TO be I why I right person ?



鈴木 昭彦
(第 38 期・機械科 C)

昭和 20 年、戦後の混乱期に生まれ、地元の小・中学校を平凡に過ごし、東実機械科に入学、在学中は影の薄い存在、部活動は部員 3 名の(私設?)化学部に所属し、3 年間で着なく終了。

卒業後入社したのは、学校から紹介された熱機械装置を製造販売する社員 20 人足らずの小規模ながら、大企業を顧客とする独立したメーカーでした。入社から現在まで 52 年間勤め、その間に「何故私なの…、私が適任者?」と自問したことが 3 回ありました。

最初は、昭和 39 年、入社間もない頃、石川県の高級温泉ホテルに納入した、当時弊社の製品で最大級の「ボイラ(取り扱い資格 1 級ボイラ技師以上)」の現地試運転を指示され、諸先輩がいる中、若干 19 歳の私が一人で出張、何故との思いでした。

2 回目は、昭和 59 年、世界でトップクラスの印刷機械メーカー「ハイデルベルグ社」の印刷機が日本に初めて輸入され、弊社の乾燥装置の採用が決定、技術的打合せが必要となり、旧西ドイツ・ハイデルベルグ市への出張命令、高校時代、英語は赤点ぎりぎり、ドイツ語なんて論外な私に何故…と思ったこと。

3 回目は、平成 14 年 7 月、私の人生の中で最大級の衝撃的「何故私なの…」が起きたのです。定年間際の私に、前社長より次期社長へと指名されたのです。青天の霹靂、藪から棒、一瞬後頭部に一撃をくらった感覚を覚えました。

このような出会いの中、私の好きな言葉、「打つ手は無限」、「人は一人ではない」をモットーに、人との繋がりを大切に、無限の施策を念頭に置き半世紀を無事に過ごし、古希を迎えた今日この頃です。

古希を迎えた我々 38 期卒業機械科 C 組では、昨年の会報で日下部君が記した通り、毎回大塚(旧姓須藤)先生を囲み楽しくクラス会を開催しています。

■ 寄付者一覧 ■

ご寄付を頂き有難うございました。

皆様から頂いた寄附金は、同窓会や母校のために有意義に活用させていただきます。

寄付者名(敬称略)	金額
会員 第 18 期 河邊 位	10,000 円
会員 第 38 期 鈴木 昭彦	30,000 円

返信ハガキ備考欄より

平成 27 年新年会(1 月 30 日開催)及び平成 27 年定期総会・懇親会(6 月 6 日開催)開催のご案内通知の「返信ハガキの備考欄」の記述文を抜粋しました。

新年会(2015.1.31)

お名前	卒期	備考欄記述文
中村 光伸	第 34 期	全国高校駅伝に(東京代表で)出場しないとちょっと寂しいですね。次回は楽しみにしています。
波田野 紘一	第 38 期	クラス会を毎年 1~2 回実施しております。(5 年前より)
飯塚 守昭	第 38 期	野球は昨夏都大会対雪谷高戦(神宮第 2)惜敗、高校駅伝も残念でしたが、今年は大いに期待しています。

定期総会(2015.6.6)

お名前	卒期	備考欄記述文
松下 修也	第 21 期	終戦から 70 年、教練にしごかれた世代です。音楽の世界で 66 年間を過ごしました。隔世の感あります。益々のご発展を祈ります。
原 川 清	第 25 期	今年も東京代表に野球・駅伝競走が選抜出来るように応援しております。いつも同窓会報を楽しみにみえています。有難うございます。
菅沼 義治	第 26 期	新潟県見附市今町・長岡市中之島町大風合戦に出席のため、残念ながら欠席させていただきます。皆様によりしくお伝え下さいますよう、お願い申し上げます。
山崎 誠治	第 29 期	新校舎竣工、誠におめでとうございます。また、記念品を贈って頂き有難うございました。我が母校の益々のご発展を祈念致します。
横山 恭之	第 29 期	足腰の動くうちに、もう一度母校で模型鉄道を運転する機会があったら、お声をかけて下さい。
二見 旭	第 34 期	1 月 9 日、(新校舎竣工記念式典に参列のため)50 年ぶりに校内に入りました。時の流れを感じました。
鈴木 正	第 34 期	第 26 号の会報を送付頂き、有難うございます。母校創立 93 年、卒業生として誇りに思います。「継続は力なり」益々社会で役立つ生徒を育成して下さい。
浜住 美美枝	第 34 期	会報届きました。有難うございます。本田会長さんの頑張りに私も「頑張ろう!」と励まされております。
岡田 清	第 35 期	新校舎の竣工おめでとうございます。進路設計に向けての資格取得や国家資格など果敢に挑戦してほしいと思います。
星 勝治	第 35 期	遠藤先生のクラスであり野球の応援に参加して楽しんでおります。
桜井 忠良	第 36 期	盛大な竣工記念祝賀会に参列でき、感謝しています。
山崎 宏志	第 37 期	いつも連絡有難うございます。感謝しております。6 月 28 日に同窓会を川崎で開催することになっています。盛會を祈っています。
田中 誠治	第 38 期	同窓会報送付有難うございます。38 期機械科 3C の大塚先生参加のクラス会に年 1 回位参加し、昔話に盛り上がっています。東実の益々の発展を応援しています。
鈴木 政廣	第 42 期	同窓会報、学校通信有難うございます。毎回読むのが楽しみです。

スポーツのことなら!

しろがね

白銀スポーツ

ユニホーム・スポーツ用具
用品・施設・工事一般
カップ・賞品・トロフィー〒143-0024 東京都大田区中央8-29-7
TEL (03) 3754-8679 FAX (03) 3754-4845
第37期 白銀 正明

ITソリューションサービス

株式会社 KHIサービス
http://www.khjs.co.jp/〒231-0023 横浜市中区山下町224番地1
山下町Kビル7階
TEL:045(226)3006 FAX:045(226)3007
第42期 代表取締役社長 臼田 佳彦

めっき材料総合商社

株式会社 三松

本社 東京都大田区西蒲田7-57-11
〒144-0051 TEL (03) 3733-7131 (代)
湘南営業所 藤沢市辻堂西海岸2-14-45
〒251-0047 TEL (0466) 34-1711 (代)
横浜営業所 横浜市神奈川区恵比寿町7-5
〒221-0024 TEL (045) 461-6088 (代)
第17期 村松 濱代パソコン・一般家電 修理・販売
お気軽にご相談下さい

有限会社 深谷電器

〒145-0073 東京都大田区北嶺町 29-16
(御嶽山商店街内)
電話: 03(3728)1446
E-mail: NQF15990@nifty.com
第70期 代表取締役 深谷和弘

一企画・デザイン・印刷全般一

トータルプラン株式会社

〒144-0032 東京都大田区北糀谷1-18-14
TEL (03) 5736-3447 FAX (03) 5736-3448
E-mail: total@wing.ocn.ne.jp

第38期 川邊 國造

電気通信工事関連事業

(平成 26 年度川崎市優良業者表彰受賞)

アイ通信工事株式会社

〒211-0037 川崎市中区井田三舞町 17-55
TEL:044(798)3201 FAX:044(798)3203
E-mail: aitsusin@athena.ocn.ne.jp
第41期 代表取締役 市川 達雄東京都大田区南馬込5-22-10
TEL (03) 3771-7100 営業時間 17:00~23:00
携帯 (080) 5375-8552 月曜定休 (祝日の場合営業)

"省エネ" から "創エネ" へ (BTLシステム「バイオマス」のガス化による発電と液体燃料合成技術)

次世代の新エネルギー創造システム
電気・熱・燃料を創り出すトリジェネレーション!

株式会社 マイクロ・エナジー

〒243-0807 神奈川県厚木市金田1137-4
TEL.046-240-7088 FAX.046-240-7098
http://www.microenergy.co.jp/

第53期 代表取締役社長 酒井 利夫

uno CO.LTD.

ビジュアルプランニングのパートナー
写真の撮影・編集・印刷・製本まで

有限会社 ウーノ 03-3891-6735

〒110-0003 東京都荒川区荒川3-6-4
KATO P.P 2F

美しい日本語を大切に

株式会社 佐々木印刷所

☎146-0095
東京都大田区多摩川1丁目18番5号
TEL.03-3758-0710
FAX.03-3758-2821
第56期 佐々木 健

事務局だより

☑「主な同窓会行事」と参加のお願い

本会の行事は、下記の日程で開催しております。詳細は、本会のホームページで随時お知らせしておりますので、閲覧頂くか事務局にお問い合わせ下さい。

新年会	1月	(最終土曜日)
定期総会	6月	(第1土曜日)
懇親旅行	9月	(上旬～中旬)
東実祭	11月	(中旬の土・日曜日)

なお、お申込みは、電話、メールいずれでも構いません。会員（東京実業高校の同窓生）であればどなたでも参加出来ますので、是非ご参加下さい。（事務局）

「平成28年定期総会」 開催のお知らせ

平成28年（第36回）の定期総会は、下記の要領で開催いたします。

記

日時：平成28年6月4日（土）
場所：15時00分～18時00分
場所：プラザ・アペア（蒲田駅南口）
会費：3,000円（懇親会参加者のみ）

※総会終了後に懇親会を開催いたします。卒業後3年以内の会員は招待とし、会費は無料ですので、お気軽にご参加下さい。（総務部）

☑「同窓会名の電話」に注意して下さい

「名簿を作成するため寄付を募っています」などのサザの電話が横行しています。本会では、電話による寄付の要請は一切行っていません。ご家族の方にも周知されて直ぐに対応しないよう“注意”して下さい。

もし、同窓会名で電話がありましたら、必ず事務局又は学校に確認のご連絡をお願い致します。（事務局）

☑「会員名簿・法令遵守」等について

ホームページを閲覧される会員の方が年々増加し、「お問合せフォーム」から、住所変更等のご連絡を頂く他、「同窓会名簿が欲しい」、「同期生の〇〇さんの住所を教えてください」などの問合せが多々あります。会員名簿は、製本せず電磁的記録媒体で管理しており、皆様からご連絡頂いた変更事項等は、随時データを更新して保管しております。また、個人情報に関する問い合わせに関しては、法令遵守や悪用防止のため、本人の同意を得た場合のみ、お応えしております。何卒ご理解とご協力のほど、宜しくお願い致します。（事務局・企画部）

☑「写真・随筆」の募集について

本誌、創立100周年記念号の発刊に際し、会員からの在校時代の思い出の写真や随筆を募集しております。

ご協力頂ける方がいらっしゃいましたら、事務局までお申し出下さいますよう、お願い致します。（総務部）

☑「卒業アルバム」貸与・贈呈のお願い

本会では、歴代の卒業記念アルバムを所蔵し、東実祭などで展示公開しております。しかし、管理状況の不備や度々の保管場所の変更などにより、残念ながら全ての卒業年度が揃ってなく、いろいろな機会を通じ、会員にお願いして収集して参りましたが、個人的にも大切な思い出の品であり、なかなか揃えることが出来ません。

会員の皆様で、もし貸与又は贈呈して下さいましたら、ご協力お願い致します。なお、貸与の場合はコピー後、速やかにお返し致します。（総務部）

編集後記

本誌「東京実業高校同窓会会報」第27号の発行に際しまして、ご寄稿を下さいました皆様方には、大変お忙しい中、ご執筆して頂き誠に有難うございました。

また、広告掲載にご協力下さいました企業様には、厚く御礼申し上げます。

さて、平成27年度、母校は創立90周年事業の体育館並びに校舎建替え工事が無事竣工となり、一新された素晴らしい環境と新任の知念義裕(第9代)校長先生のもと、以前にも増して多くの生徒達が、国家資格試験や各種検定試験に合格されるなど、学業成績の向上だけでなく、部活動でも輝かしい成績を挙げるなど、学校だけでなく同窓会会員にとっても大変喜ばしい一年でした。

今後も会報部では、より充実した内容で会員のご要望とご期待にお応えして行く所存ですので、引き続きご指導とご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

最後に、ご愛読して下さいました皆様には心から感謝申し上げますとともに、本年も皆様方にとってより良い年でありますようご祈念申し上げます。（会報部部員一同）



東実同窓会会報 No.27 会報部

責任者 川邊 國造 (副会長)
部員 箕輪 弘数 (常任幹事)
竹見 佐智子 (")
神野 行雄 (")
佐藤 まり子 (")
山田 慎 (")

発行日 平成28年3月1日
編集 東京同窓会報 会報部
発刊 東京実業高校同窓会
事務局 〒144-0051
東京都大田区西蒲田8-18-1
TEL 03-3732-4481 FAX 03-3732-4456
URL <http://www.tojitsu-dosokai.com/>
e-Mail info@tojitsu-dosokai.com

[携帯] TEL 080-1186-8945
e-Mail tojitsu-dosokai@docomo.ne.jp

発行人 本田 位子 (会長)
編集人 川邊 國造 (副会長)
編集協力 臼田 佳彦 (副会長)
小野 博司 (教諭)
高山 俊一 (常任幹事)
米倉 美鈴 (事務局)

制作 トータルプラン株式会社